



しろみず 東根二中たより

平成30年度 東根市立第二中学校 生徒会スローガン
常昇～二中生全員で築く 新たな歴史～



平成30年
9月14日(金)
第10号

OVER THE LIMIT ～団結の鍵で勝利への扉が今開く～

体育館での熱戦、久しぶりのグラウンドでの徒競走。 **熱戦！ 秋季大運動会** 9月1日(土)

総合優勝：赤軍
ポスター賞：赤軍



天下無双



総合準優勝：白軍
応援賞：白軍
看板賞：白軍

勇往邁進

応援練習では最初皆声が出ていませんでした。放課後、看板を手伝っていた時、隣で応援団が声からして練習していたので、自分も頑張りました。

1年1組



1年生の新種目。焦らず丁寧に進むのがコツでしたね。



私は運動会で作戦係になりました。学年種目では負けてしまったけど、とても楽しかったです。作戦係での経験を今後の生活に活かしていきたいです。

1年1組

今年は優勝できてうれしかったです。応援賞は取れなかったけれど、赤軍みんなで協力して良い運動会になったと思います。来年も頑張りたいです。

2年1組



私は先輩たちと完全優勝という目標を掲げて頑張ってきました。結果は完全優勝とはなりませんが、仲間と団結し一つの目標に突き進む事の大切さ楽しさを知りました。

2年1組

60周年記念・平成最後の運動会で勝利を収める事が出来て良かったです。私は、看板係として看板賞を取れなかったのは悔しかったです。仲間と協力できて良かったです。

3年1組



運動会で心に残っているのは騎馬戦です。けが人がいて不安でしたが、皆で絶対に勝つという気持ちで戦いました。騎馬戦に勝って、最後に赤軍が優勝できたので良かったです。

3年1組

中学校最後の運動会を「勇往邁進」のもと、白軍一丸となってやり遂げることができたと思います。結果は準優勝となりましたが、応援賞を取ることができ良かったです。

3年1組



私は最後の運動会なので、全てのことに力を入れ、勝利に導けるよう努力しました。雨が続き体育館で行った競技もありましたが、無事に成功に終わって良かったです。

3年1組

裏もご覧ください。

北村山地区英語暗唱・弁論大会

9月5日(水)

英語は世界の公用語。二中代表として夏休みから練習してきた2名。暗唱の部に出場し、
さんは「The pillow」、
さんは「Tom has work on Saturday」を、身振り手振りを加えながら発表しました。

【The pillow】

“I did it, at last!” said Dr. F
in his small room. ”This is
a great invention”



【Tom has work on Saturday】

Aunt: What are you doing here, Tom?
Tom: Oh, I'm just going to wash the
dishes.

トップバッターでしたが、堂々と発表できて良かったです。今回の経験を通して、英語の楽しさを改めて感じました。今回学んだことを授業などで活かしていきたいと思います。

2年1組

今回、私は初の英語暗唱大会出場でした。練習では間違いが多くて本番が不安でした。しかし、先生方の支えもあって、本番では登場人物になりきって堂々と発表することができて良かったです。

2年1組

平成31年度 新入生説明会

9月13日(木)

来年入学予定の皆さんに東根二中を紹介する会です。理科と英語の体験授業、そして、生徒会役員による生徒会活動や学校生活のプレゼンテーションなど、東根二中を詳しく紹介しました。



昭和45年度卒業生の皆様 ありがとうございました

9月12日長瀬在住の青野博様ご来校され、昭和45年度卒同窓生の皆様より東根二中同窓会に対し3万円のご寄付を頂戴しました。本校および同窓会発展のために大切に活用させていただきます。

おめでとうございます

- ❖東北青少年音楽コンクール 奨励賞 (6月3日)
- ❖県ジュニアピアノコンクール地区予選 中級B部門 金賞 (7月8日)
- ❖少年の主張村山地区大会 努力賞 (8月22日)
- ❖東根市女子ソフトボール研修大会 第1位 (9月9日)

えん じん
円 陣

校長 金村裕之

今、「団結を象徴する姿とは？」と問われたら、「互いの肩と肩で円陣を組むこと」と答えます。

今年の東根二中秋季大運動会でも、中学生たちが作り出した「青春の円陣」にたくさん出会いました。

決戦に向かう直前、仲間と自然と肩を組んで大きな輪を作り、互いの眼差しを交わし合いながら感情を爆発させる。仲間とともに自らの勇気を奮い立たせようとしているその姿は、若者の年代だからこそその表現であるなど勝手に思ってしまう。

そして、見ている私は、若者たちの情熱に眼を奪われ、心を揺さぶられ、自らの魂をも鼓舞されているような錯覚に陥ったのでした。

人は他者と関わる場面で、様々な形態を取ります。並んでみたり、正面で向きあったり、車座になったり。目的や状況に応じて多様な状況を、意識的・無意識的に選択しているのだと思います。

スポーツの場面でよく見られる円陣。円陣を組む行為は、同じ目的を掲げた仲間との一体感を生み出すために、自然に発生した姿なのだと思察します。そして、仲間の息遣い、体温や汗を肌で感じ取り、心身ともに繋がる尊い動作なのだと感じます。

この夏、円陣を組んで団結し、仲間とともに燃え上がった中学生たち。きっと青春の1ページに、共に生きる喜びを深く刻み込んだのだと思います。